

# ワラワふじ

## 戦没者2806柱

### 市民会館で追悼式

昭和52年度富士市戦没者追悼式が5月20日吉原市民会館で行われました。追悼式は、第2次世界大戦までに戦死された2806柱の英霊を正面祭壇にまつり、まずベートーベン作曲の「英雄」のメロデーで始まり、黙禱について、渡辺市長の式辞、外山市議会議員、県知事代理の追悼の辞などがありました。会場には、1000名の遺族が出席、当時を思い出してか、あちらこちらからすすり泣く声が聞かれました。午後は曲芸や浪曲などのアトラクションで楽しい、ひとときをすごしました。



## 「松原川を清掃奉仕」

### 宇東川2丁目の皆さんが

市内原田宇東川2丁目（町内会長加藤政次郎さん）の町内会の皆さん50余名と、呼子会の皆さんがこのほど「わたし達の川はわたし達の手できれいにしましょう」と松原川の清掃を行いました。

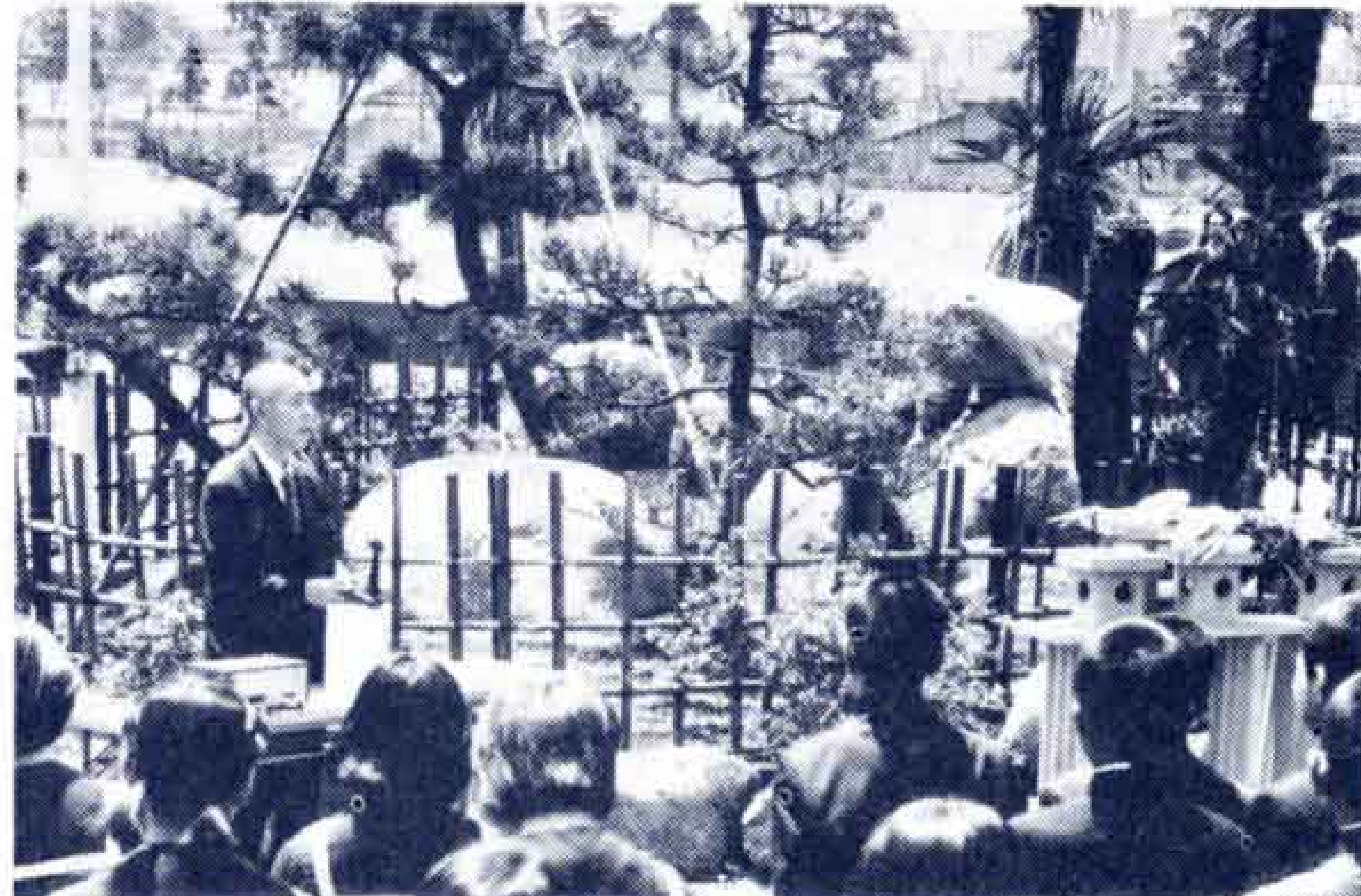
こんどの河川清掃は、町内会の皆さんが自主的に行ったもので各戸からシャベル、スコップなどを持ち出し、泥まみれになって川底をさらい、みるみるうちにゴミの山。その成果で見みがえるような、きれいな「松原川」になりました。



## 「サンショウウオ」をとらないで…

市環境部環境保全課と市域自然調査研究会が、このほど赤淵川・須津川上流の2カ所に「箱根サンショウウオ」をとらないでくださいという説明付きの立看板を建てました。

この立看板は「ぼくと愛鷹山」のタイトルで、子どもたちにもわかるように、ぼくは、「サンショウウオ」とゆうんだよ。ぼくは、そこの川の中でも、丘の上でも生きていくことができるんだ……といったやさしい文章で書かれています。この一帯は、愛鷹山自然環境保全地域に指定され、春夏秋冬を通じ、カモシカ、リス、キツネ、サルや四季の花が乱れ咲く、美しい楽園です。市民の皆さん、自然を大切にしてください。



## 的場の石舞台(千人塚を復元)

市立須津中学校生徒会による新校舎落成感謝の式ならびに「的場の石舞台」鎮魂式が、5月21日同校本館玄関前で関係者多数をむかえて盛大に行われました。

この「的場の石舞台」は、同校正面に建立されたもので、新校舎の建設中に掘り出された大岩石を使い長さ4m、巾1m、高さ1.2mの石室になっています。これは、同校のPTA、生徒たちが、新校舎の落成を記念してつくられ、神谷地区「千人塚古墳」を復元し本校の地名、字の的場の名称をつけ「的場の石舞台」と命名したものです。

また、この的場の石舞台には、「巨大な石にそっと手を触れるとき、何ともいえぬ石のぬくもりと歴史の重みを君は感じないか」という書き出しで碑文がきざまれています。